



Ε·VAULT

電子ドラムモジュール  
クイックスタートガイド



i  
n  
t  
e  
r  
a  
c  
t  
i  
o  
n



QR コードをスキャンすると  
以下ができます

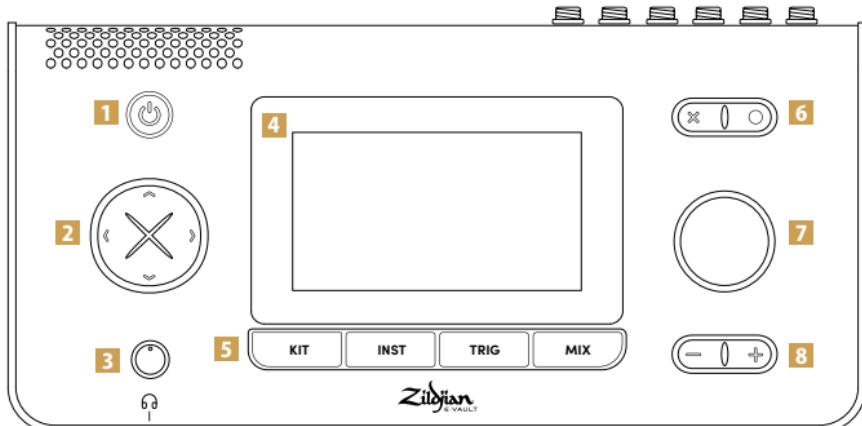
1. ドラムキットの設定の解説  
動画の視聴
2. フームウェアとサウンドの  
アップデートをダウンロード
3. モジュールのナビゲーションと  
設定の解説動画の視聴
4. デジタル版ユーザーマニュアル  
全文にアクセスする

## コンテンツ

<b>1. E-VAULT モジュール</b>	<b>4</b>
トップパネル	4
背面パネル	5
<b>2. 設定</b>	<b>6</b>
取付プレート	6
ドラムの接続	6
シンバルの接続	7
ハイハットの接続	7
シンバルの演奏	8
キットモデルの接続	8
<b>3. はじめに</b>	<b>10</b>
E-VAULT ワークスペース	10
電源オン/オフ	11
最初の設定	11
<b>4. プレイ</b>	<b>12</b>
プレイキット	12
キットプレイ設定	13
キットミキサー	14
ミックスハブ	15
<b>5. トリガー設定</b>	<b>16</b>
ドラム＆シンバル入力	16
ハイハットコントロールの設定	17
<b>6. 重要なお知らせ</b>	<b>18</b>
仕様	18
安全情報	19
重要な情報	22

# E-VAULT モジュール

## トップパネル



### 1 電源

電源ボタンを押してモジュールをオンまたはオフにします。

### 2 十字キー

方向ボタンを使用して画面内を移動し、コントロールや設定を選択します。

### 3 ヘッドフォン

ヘッドフォンを1/4インチ(6.35mm)出力ジャックに接続し、ノブを回して音量を調整します。

### 4 タッチスクリーン

タッチスクリーンインターフェイスにより、システムのナビゲーションと設定をインタラクティブに制御できます。

### 5 ワークスペース

ワークスペースのショートカットボタンを押して、画面や機能にアクセスします。システムワークスペースにアクセスするには、[O]ボタンを長押しします。

### 6 アクション

対応するアイコンが表示されたら、[X]ボタンを押してアクションをキャンセルし画面を終了するか、[O]ボタンを押してアクションを実行します。

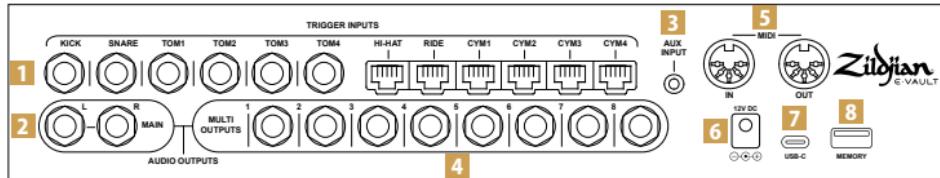
### 7 エンコーダー

エンコーダーノブを回して、コントロールまたは設定の値を調整します。

### 8 メイン音量

[−]ボタンと[+]ボタンを押して、メイン出力音量を段階的に調整します。

# 背面パネル



## 1 トリガー入力

ドラムとシンバルのトリガー出力を、モジュールのそれぞれ対応するトリガー入力に接続します。付属の1/4インチ(6.35mm)TRSジャックケーブルを使用してドラムを接続します。付属のRJ45ケーブルを使用してシンバルを接続します。

## 2 メイン出力

1/4インチTRSジャックケーブル(別売り)を使い、MAIN L-Rバランス出力をミキサー、ドラムアンプ、またはオーディオインターフェイスに接続します。アンバランスTSジャックケーブルも使用可能です。

## 3 AUX 入力

1/8インチ(3.5mm)TRSミニジャックケーブル(別売り)を使用してステレオオーディオソースを接続します。AUX入力は、ラインレベル信号を出力する音楽プレーヤーやオーディオデバイス用に設計されています。

## 4 マルチ出力

モジュールのマルチ出力マトリックスは、楽器やグループからのオーディオを8つのバランス1/4インチTRS出力にルーティングします。これらの出力をミキサーまたはオーディオインターフェイスに接続します。

## 5 MIDI IN | OUT

5ピンDINケーブル(別売り)を使用して外付けMIDIデバイスを接続します。

## 6 DC IN

付属のACアダプターを接続します。

## 7 USB-C

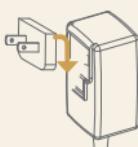
USB-Cケーブル(別売り)を使用してモジュールをコンピュータに接続します。Zildjian E-VAULTは、マルチチャンネルオーディオおよびMIDIデータ送信をサポートするクラス準拠のオーディオデバイスです。

## 8 メモリ

付属のUSBフラッシュドライブを接続して、システムのアップデートやバックアップを実行します。フラッシュドライブは使用の前にフォーマットを行う必要があります。

### フラッシュドライブのフォーマット

- システムワークスペースメニューから、**システム設定**画面にアクセスします。
- フォーマットタブを選択します。
- フラッシュドライブをMEMORYスロットに挿入します。
- [USBメモリのフォーマット]ボタンを押します。



### 電源アダプターについて

付属のAC電源アダプターは世界中で使用可能です。

お住まいの国の電源コンセントの種類に対応した付属プラグを取り付けてください。

安全に操作するために、付属のAC電源アダプターとプラグのみを使用してください。

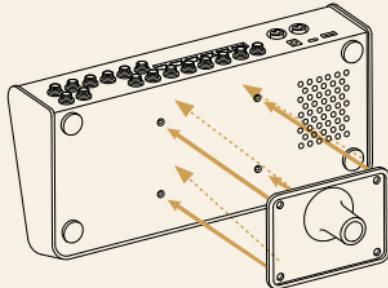
## 2. 設定

### 取付プレート

#### 底部パネルにプレートを貼り付けます

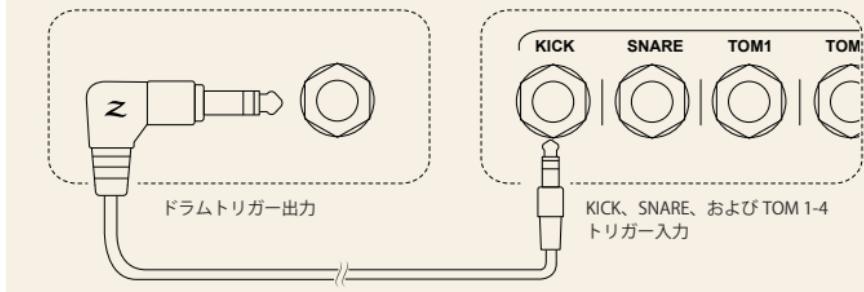
付属の取付プレートを使用して、モジュールを互換性のあるドラムスタンドまたはラックに取り付けます。

1. 取付プレートをモジュールの底部パネルにあるネジ穴およびガイドに合わせます。
2. 付属の M5-10mm ネジを使用して取付プレートを取り付けます。



図のようにプレートを取り付けます

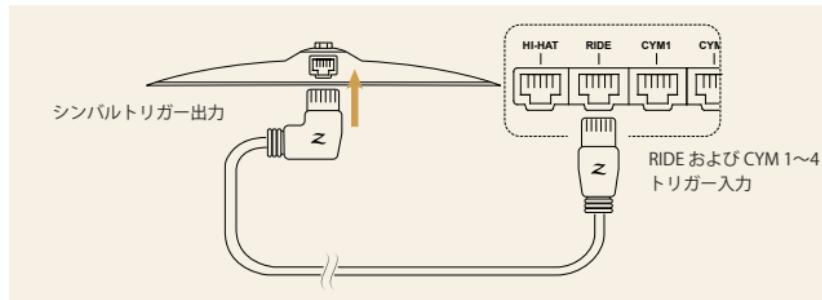
### ドラムの接続



図のように、付属の 1/4 インチ (6.35mm) TRS ジャックケーブルを使用してドラムを接続します。

1. ドラムトリガー出力を、モジュールの背面パネルの対応するトリガー入力 (KICK, SNARE, TOM 1~4) に接続します。
2. ケーブルのL字型端子をドラムトリガー出力に接続し、ストレート端子をジャック入力に接続します。
3. 付属のケーブルタイでケーブルを固定します。

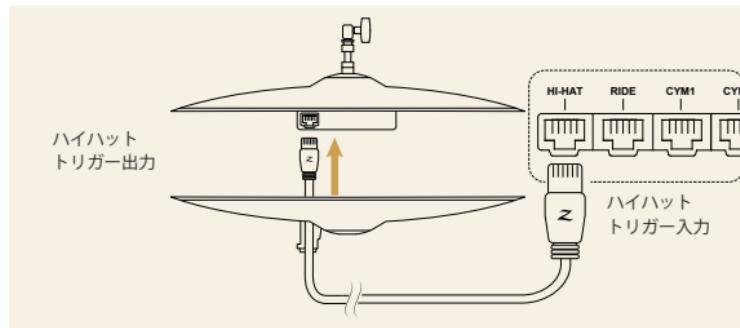
## シンバルの接続



図のように、付属の RJ45 ケーブルを使ってシンバルを接続します。

1. シンバルをモジュールの背面パネルのそれぞれ対応するトリガー入力 (RIDE, CYM 1~4) に接続します。
2. ケーブルのL型端子をシンバルに接続し、ストレート端子をモジュール入力に接続します。
3. 付属のケーブルタイでケーブルを固定します。

## ハイハットの接続

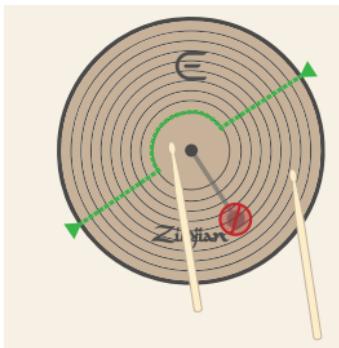


1. ハイハットを接続するには、ストレート-ストレート RJ45 ケーブルをボトムシンバルのケーブルガイドに通し、トップシンバルの端子に接続します。図のように、もう一方の端をモジュールの背面パネルにあるハイハットトリガー入力に接続します。
2. ケーブルタイでケーブルを固定します。

## シンバルの演奏

### E-ファミリーシンバルの演奏法

1. Zildjianロゴが奏者側に来るよう、シンバルをスタンドにセットします。
2. 最適な演奏エリアは、図に示した通り、Bowセンターを挟んだ両側です。
3. Bowセンターを直接叩かないように演奏してください。



## キットモデルの接続

キットモデルのドラムとシンバルを E-VAULT モジュールのトリガー入力に接続する際のガイドとして、参照表をお使いください。

## ALCHEM-E ゴールド EX

トリガー入力	楽器	アイテムコード
KICK	ALCHEM-E ゴールド 20 インチ バス	ZAG20BD
SNARE	ALCHEM-E ゴールド 14 インチ スネア	ZAG14SD
TOM1	ALCHEM-E ゴールド 10 インチ タム	ZAG10T
TOM2	ALCHEM-E ゴールド 12 インチ タム	ZAG12T
TOM3	ALCHEM-E ゴールド 14 インチ フロアタム	ZAG14FT
TOM4	-	-
HI-HAT	14 インチ E-FAMILY ハイハット ペア	E14HH
RIDE	20 インチ E FAMILY ライド	E20R
CYM1	16 インチ E-FAMILY クラッシュ	E16C
CYM2	18 インチ E-FAMILY クラッシュ/ライド	E18CR
CYM3	-	-
CYM4	-	-

フリーインプット機能により、当社の ALCHEM-E ラインナップからドラムやシンバルを追加してキットを拡張できます。

## ALCHEM-E ゴールド

トリガー入力	楽器	アイテムコード
KICK	ALCHEM-E ゴールド 18インチ バス	ZAG18BD
SNARE	ALCHEM-E ゴールド 14インチ スネア	ZAG14SD
TOM1	ALCHEM-E ゴールド 10インチ タム	ZAG10T
TOM2	-	-
TOM3	ALCHEM-E ゴールド 14インチ フロアタム	ZAG14FT
TOM4	-	-
HI-HAT	14インチ E-FAMILY ハイハットペア	E14HH
RIDE	20インチ E FAMILY ライド	E20R
CYM1	16インチ E-FAMILY クラッシュ	E16C
CYM2	-	-
CYM3	-	-
CYM4	-	-

## ALCHEM-E ブロンズ EX

トリガー入力	楽器	アイテムコード
KICK	ALCHEM-E ブロンズ 18インチ バス	ZAB18BD
SNARE	ALCHEM-E ブロンズ 14インチ スネア	ZAB14SD
TOM1	ALCHEM-E ブロンズ 10インチ ドラム	ZAB10
TOM2	ALCHEM-E ブロンズ 10インチ ドラム	ZAB10
TOM3	ALCHEM-E ブロンズ 12インチ ドラム	ZAB12
TOM4	-	-
HI-HAT	14インチ E-FAMILY ハイハットペア	E14HH
RIDE	18インチ E-FAMILY クラッシュ/ライド	E18CR
CYM1	16インチ E-FAMILY クラッシュ	E16C
CYM2	-	-
CYM3	-	-
CYM4	-	-

## 3. はじめに

### E-VAULT ワークスペース

Zildjian E-VAULT システムには、ショートカットボタンから即座にアクセスできる 5 つのワークスペース領域があります。これらのショートカットを使用すると、あらゆるシステム画面や機能にすばやく移動できます。



#### 1 キットワークスペース

キットボタンを押してキットプレイ画面を開きます。キットワークスペースでは、キットを選択、再生、編集できます。キットデータを管理する画面機能には、キットワークスペースメニューからアクセスできます。

#### 2 楽器ワークスペース

INST ボタンを押して楽器の選択画面を開きます。楽器ワークスペースでは、試聴および編集する楽器を選択できます。楽器ワークスペースメニューから、楽器データを管理する画面機能にアクセスすることができます。

#### 3 トリガーワークスペース

TRIG ボタンを押して、ドラム・シンバルトリガーの設定画面を開きます。トリガー設定は E-VAULT によってトリガープロファイルとして保存されます。メニュー画面からトリガープロファイル管理機能にアクセスできます。

#### 4 ミックスワークスペース

MIX ボタンを押して、キットミキサー画面を開きます。ミックスハブ画面で、入力、出力のレベルを調整し、ルーティングを設定します。マルチ出力ルーティングと FX の画面には、ミックスワークスペースメニューからアクセスできます。

#### 5 システムワークスペース

[0] ボタンを長押ししてシステムワークスペースメニューを開きます。このメニューから、システム設定、MIDI 設定、サウンドデータ、アップデートを管理するための画面にアクセスできます。

## 電源オン | オフ

### 電源を入れる

- 接続したアンプやスピーカーの音量を下げてください。
- 電源ボタンを長押ししてモジュールの電源をオンにします。LED が点灯したらボタンを放します。
- Zildjian E-VAULT ロゴが表示され、システムが起動していることがわかります。

起動時にドラムやシンバルを演奏するとメッセージが表示されます。システムが一連の調整とチェックを行う間、ドラムやシンバルを演奏しないでください。

### 電源を切る

- 接続したアンプやスピーカーの音量を下げてください。
- 電源ボタンを数秒間長押しし、Zildjian E-VAULT ロゴが表示されたら放します。

システムのシャットダウン中に、AC アダプタを取り外して電源を切らないでください。モジュールの電源をオフにするには、必ず電源ボタンを押してください。

## 最初の設定

### キットモデルの選択とトリガープロファイル設定の初期化

モジュールの初回起動時には **E-VAULT の設定** 画面が表示されます。画面上の指示に従ってキットモデルを選択し、デフォルトのトリガープロファイル設定を初期化します。

- ゴールドEX**、**ゴールド**、**ブロンズEX** から、お使いの ALCHEM-E キットモードに一致するオプションを選択し、「次へ」を押します。
- ご自分のダイナミックな演奏スタイルに最も近いトリガー設定オプションを、**ライト**、**ミディアム**、**ヘビー** から選択します。「完了」を押します。

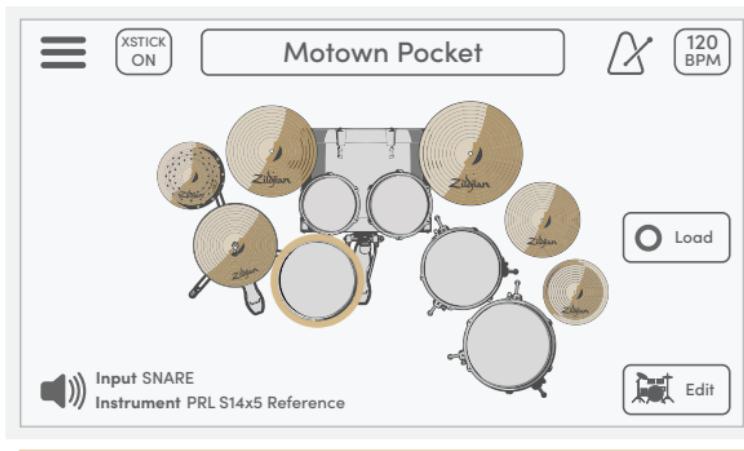
プロセスが完了すると、「キットプレイ」画面が表示されます。

別のトリガープロファイルを読み込むには、**トリガーワークスペースメニュー** 画面で「トリガープロファイルの設定」を選択します。

## 4. プレイ

### プレイキット

キットボタンを押してキットプレイ画面を表示します。キットの選択、メトロノームの再生、他のキットワークスペース画面へのアクセスが行えます。



#### メニュー

メニューアイコンを押して、キットワークスペースメニュー画面を開きます。

#### XSTICK

XSTICKボタンを押すと、スネアドラムのクロススティックのオン/オフが切り替わります。

#### キットの選択 | 読み込み

エンコーダーを使用してキットを選択します。ボックスを押してキットの選択画面を開きます。キットを読み込むにはキット名の2G話の[○ Load]をタップするか、トップパネルの[○ Load]ボタンを押します。

#### メトロノーム

メトロノームアイコンを押して、メトロノームを再生・停止します。

#### BPM | キットプレイ設定

画面上のメトロのノームBPMを押すとキットプレイ設定タブを表示できます。

#### キットビュー

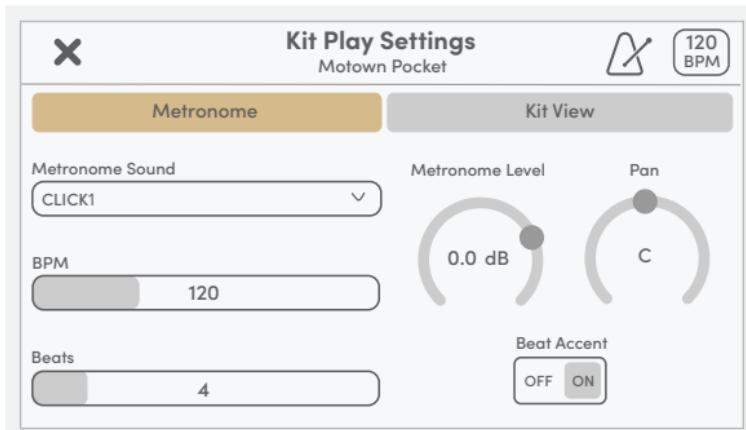
キットビューモードでは、キットの楽器の割り当てと再生入力を視覚化します。

#### キット編集

「編集」ボタンを押して、キット編集画面を開きます。

## キットプレイ設定

キットプレイ設定画面を表示するには、BPM ボックスを押します。デフォルトではメトロノーム設定タブが選択されています。



### メトロノーム音

ドロップダウンリストを開いて、さまざまなメトロノーム音から選択できます。

### BPM

メトロノームのテンポをコントロールします。設定範囲は 40~300bpm です。

### ビート

小節の拍数を設定します。設定範囲は 2~16 拍です。

### メトロノーム音量

メトロノームの音量レベルをコントロールします。この設定は、ミックスハブ画面で調節することもできます。

### メトロノームのパン設定

メトロノーム音のステレオパンニング位置をコントロールします。

### ビートアクセント

オンにすると、小節の1拍目で別の音が鳴ります。

## キットミキサー

**ミックス**ボタンを押して、キットミキサーを開きます。12のミキサー・チャンネルは、ドラムグループとシンバルグループに分けられています。**ドラム・シンバルセレクター**を押して、ミキサーグループのビューを切り替えます。



### ミックスハブ

ミキサーアイコンを押して、**ミックスハブ**画面を開きます。

### ミキサー画面のロック

ロック(錠)アイコンを押すと、ディスプレイ上でタッチ操作でのミキサーの音量とパンのコントロールを無効にできます。ロックした状態でもDパッドとエンコーダーを使ってチャンネルの選択や音量、パンのコントロールはできます。

### ミキサー情報

表示されているミキサーグループと現在選択されているキットを示します。

### ドラム・シンバルセレクター

セレクターを押すと、**ミキサードラム**と**ミキサーシンバル**のグループビューを切り替えられます。

### パンコントロール

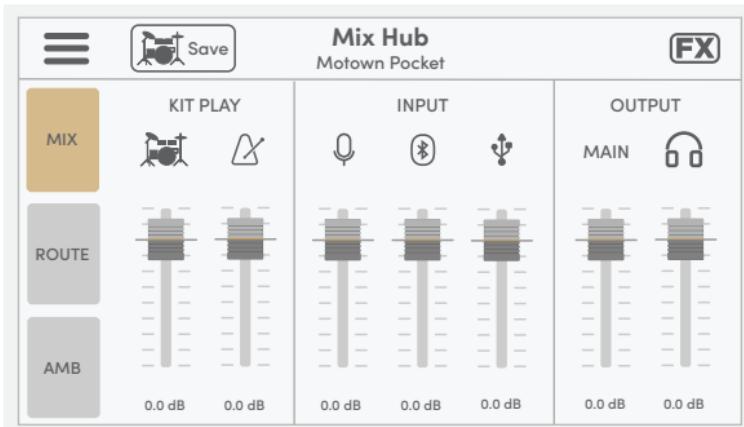
ロータリーノブを選択して、各ドラムとシンバルのステレオパンニング位置を調整できます。設定範囲は L63～C～R63 です。

### 音量調節

フェーダーノブを選択し、各ドラムとシンバルの音量レベルを調整します。設定範囲は -99.9dB～+10.0dB です。

## ミックスハブ

ミックスハブ画面には、各種入力・出力チャンネルのミキシングコントロール機能が備わっています。ミックスハブからFX設定やその他のミックスワークスペース機能にアクセスできます。



### メニュー

メニューアイコンを押して、ミックスワークスペースメニュー画面を開きます。

### キットの保存

ボタンを押すと、現在のキットのキットミキサー設定を保存できます。

### FX

FXアイコンを押して FX画面を開きます。

### ミックス | キットプレイコントロール

フェーダーはキットの音量レベルとメトロノームの音量レベルを制御します。

### ミックス | 入力コントロール

フェーダーは、AUX入力、Bluetooth、USB-IN の各ステレオオーディオソースの入力音量レベルを制御します。

### ミックス | 出力コントロール

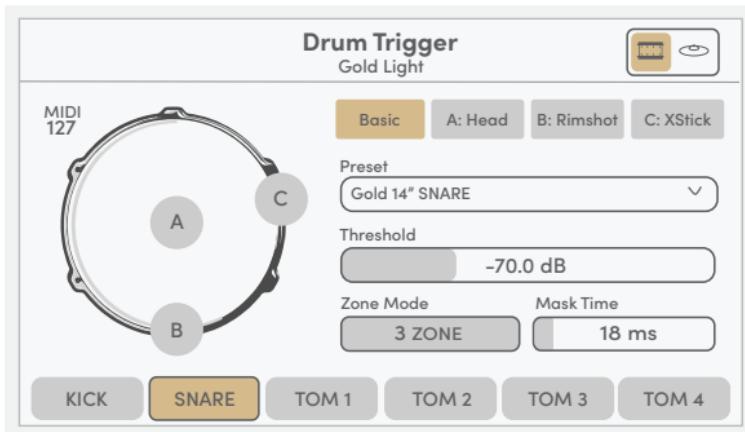
フェーダーは、メイン出力の音量レベルとヘッドフォンのレベルを制御します。

**役立つヒント:** ミキサー画面で、十字キーを使用してパンノブまたはボリュームフェーダーを選択し、エンコーダーを回して値を設定してください。

## 5. トリガー設定

### ドラム&シンバル入力

TRIGボタンを押して、ドラムトリガーとシンバルトリガーの設定画面を開きます。ドラム - シンバルセレクターを押すと画面が切り替わり、入力を選択するためのボタンが表示されます。



#### トリガー情報

実行中のトリガー設定の画面と選択したトリガープロファイルを表示します。

#### ドラム・シンバルセレクター

セレクターを押すと、ドラムトリガーとシンバルトリガーの画面を切り替えられます。

#### トリガーアイコンインジケーター

グラフィックインジケーターは、選択された入力のゾーントリガーを視覚化します。

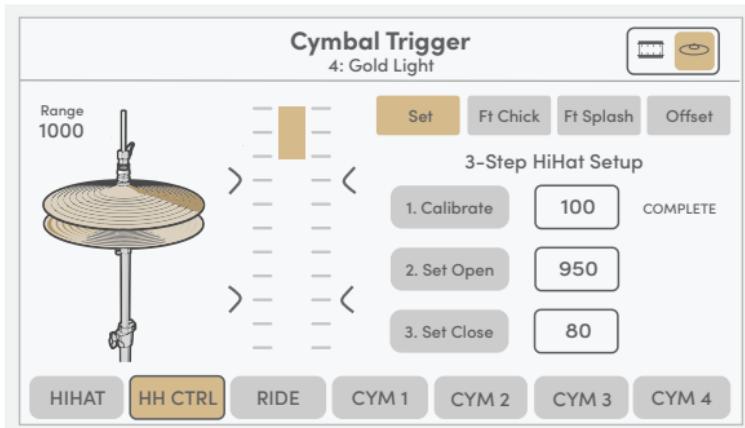
#### トリガー設定タブ

各種のタブに、選択した入力のトリガー設定が含まれています。トリガー設定の構成は以下のように各入力を通じて一貫しています。

[Basic] Preset, Threshold, Zone Mode, Mask Time  
[Zone Tabs] Gain, Curve, Detection Sensitivity

## ハイハットコントロールの設定

E-FAMILY ハイハットを設定するには、シンバルトリガー画面を表示し、**HHコントロール**ボタンを押します。セットタブには、開閉制御機能を設定するための3ステップボタンが表示されます。



スケールバーのグラフィックと範囲値は、ボトムシンバルに対するハイハットトップシンバルの現在の位置を示します。開閉制御機能を設定するには、以下の各ステップに従ってください。

### ステップ 1: キャリプレート

ハイハットクラッチのロックを解除し、トップシンバルをボトムシンバルの上に乗せます。**[1. キャリプレート]**ボタンを押してキャリプレーションポイントを設定します。

### ステップ 2: オープンポイントの設定

トップシンバルを好みの高さまで持ち上げ、ハイハットクラッチをロックします。インジケーターのバーと範囲値が変化はじめることを確認してください。

**[2. オープン設定]**ボタンを押します。オープンポイント値が設定され、スケール上に表示されます。

### ステップ 3: クローズポイントの設定

自然な足圧でハイハットを閉じます。範囲値がキャリプレーション値より低い場合には、**[3. クローズ設定]**ボタンを押してオープンポイント値を設定します。クローズポイント値が設定され、スケール上に表示されます。

必要に応じて、各ステップを個別に実行できます。ステップが正しく完了すると、システムは「COMPLETE」というメッセージを表示します。無効な値(INV)を設定した場合、指示メッセージ「RETRY」が表示されます。

## 6. 重要なお知らせ

### 仕様

本製品の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

ディスプレイ	5インチ タッチスクリーン LCD、1280 x 720 LED バックライトボタン
コネクタ	トリガー入力ジャック × 6:1/4 インチ (6.35mm) TRS フォンタイプ トリガー入力端子 × 6:RJ45 タイプ (シンバル専用) オーディオ出力 (メイン) ジャック (左、右):1/4 インチ (6.35mm) TRS フォンタイプ、バランス オーディオ出力 (マルチ出力) ジャック × 8:1/4 インチ (6.35mm) TRS フォンタイプ、バランス ヘッドフォンジャック:ステレオ 1/4 インチ (6.35mm) フォンタイプ (32 オームを推奨) AUX INPUT ジャック:ステレオ 1/8 インチ (3.5mm) ミニチュアフォンタイプ MIDI (IN、OUT) 5 ピン DIN コネクタ USB-C ポート:USB-C タイプ、高速 MIDI およびマルチチャンネルオーディオに対応 メモリ:USB フラッシュドライブ (FAT32、最大32GB) DC IN ジャック
USB オーディオ	Zildjian E-VAULT は、USB クラス準拠のオーディオデバイスです。 48 kHz、16 ビットオーディオ 出力:10 チャンネル 入力:2 チャンネル
Bluetooth	入力:2 チャンネル、ステレオ (A2DP)
電源	AC アダプター (DC 12V)
消費電流*	2A
寸法	300 (幅) × 166 (奥行き) × 78.9 (高さ) mm 13 (幅) x 6-9/16 (奥行き) x 3-1/8 (高さ) インチ
重量	2.19kg/4 ポンド 13.1 オンス
付属品	クイックスタートガイド 12V DC 2.0A 24W 電源アダプター 32GB USB フラッシュドライブ マイクロファイバーキーリーニングクロス 取付プレート (黒色、M5 x 10mm ネジ 4 本付き)

\*平均消費電流は約 1.6A です。

**E-VAULT システムアップデートについて:**このガイドの冒頭にある QR コードをスキャンし、サポート & ダウンロード エリアにアクセスしてください。ファームウェアとサウンドのアップデートのインストールに関する詳細な手順については、E-VAULT ユーザーマニュアルをご覧ください。

## 安全情報

### 安全上の重要な指示と警告。

デバイスを使用する前によくお読みください。すべての指示と警告に必ず従ってください。従わない場合、怪我や物的損害が発生する可能性があります。これらの説明書は将来参照できるように保管しておいてください。

#### 警告・注意事項について

	<b>警告</b>	死亡または重傷につながる可能性のある危険を示します。
	<b>注意</b>	傷害や物的損害につながる可能性のある危険を示します。

#### 記号について

	「注意」：注意点をお知らせします
	「～しないでください」：禁止行為を示します
	「必ず～」：必要なアクションを示します

## 警告

	<b>付属または指定された電源のみを使用してください</b> 電源コードが接地されており、保護接地接続を備えたコンセントに差し込まれていることを確認してください。 お住まいの地域に適した電圧接続のみを使用してください。 楽器を抜き差しするときは、コードではなくプラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷し、感電による怪我や死亡事故を引き起こす可能性があります。
	危険を避けるため、濡れた手や湿った手で電源を扱わないでください。感電により傷害や死亡事故が発生する可能性があります。
	AC アダプターのコードやプラグに擦り切れや傷が生じたり、使用中に突然音が出なくなったり、異臭がした場合は、すぐに電源スイッチを切り、アダプターを抜いてください。プラグをコンセントから抜き、資格のあるサービス担当者に機器の検査を依頼してください。損傷した電源装置を使用すると、火災や感電の原因となることがあります。
	電源コードを無理に曲げたり、重いものを乗せたり、傷つけたりしないでください。電源が損傷すると、火災や感電の原因となることがあります。
	小さな部品は、誤飲すると怪我や死亡につながる可能性があるため、常に子供やペットの手の届かないところに保管してください。事故防止のため、大人の監督なしに子供に楽器を使用させないでください。

## 安全情報(続き)

### ⚠ 警告

	直射日光、極端な温度(高温または低温)、湿気、過度のほこりにさらしたり、強い振動や衝撃を直接与えたり、磁界に近づけたりしないでください。
	雨にさらしたり、水の近くや湿った状態で使用しないでください。液体の入った容器をモジュールの上に置かないでください。
	電源コードや接続コードは、人が踏んだり、つまずいたり、物が横断するような可能性のある場所に置かないでください。 <b>怪我や楽器損傷につながる可能性があります。</b>
	楽器は転倒の可能性がある不安定な場所に置かないでください。 <b>怪我や楽器の損傷につながる可能性があります。</b>

### ⚠ 注意

	使用しないときや雷雨の場合は、電源プラグを抜いてください。
	定期的にプラグを掃除し、溜まったほこりを取り除いてください。プラグにほこりが付着した状態で電源を使用しないでください。 <b>火災や感電の原因となることがあります。</b>
	電源が過熱する可能性があるため、ヒーターやラジエーターなどの熱源の近くで電源を使用しないでください。 <b>火傷や火災の危険があります。</b>
	他の機器に接続する前に、すべての楽器の電源をオフにしてください。誤動作や破損の防止になります。
	電源タップを使用して電源をコンセントに接続しないでください。音質が低下したり、コンセントが過熱する可能性があり、 <b>火災の危険につながります。</b>
	この製品は、単独で、またはアンプやヘッドフォン、スピーカーと組み合わせて使用した際に、永久的な難聴を引き起こす可能性のあるレベルの騒音を発する可能性があります。大音量や不快なレベルで長時間操作しないでください。難聴や耳鳴りを感じた場合は、聴覚専門医にご相談ください。

## 安全情報(続き)



### 注意

	付属の電源アダプターやコードを他の電子機器に使用しないでください。
	電気ヒーターやオーブンなど、他の高電力消費機器と同じコンセントに電源を接続しないでください。
	楽器の電源をオフにしても、電源から切断されるわけではありません。楽器の電源を完全に切るには、電源コードをコンセントから抜く必要があります。
	楽器の上に体重をかけたり、重いものを置いたり、ボタン、ノブ、コネクタに過度の力を加えたりしないでください。
	内部の熱の蓄積を避けるために、適切な空気循環を確保し、モジュールの通気口をふさがないようにしてください。 <b>モジュールが過熱すると、火傷や楽器の損傷につながる可能性があります。</b>
	移動する前にすべてのケーブルを取り外してください。
	紙、金属、その他の物体が楽器内に入らないようにしてください。そのような問題が発生した場合は、楽器のプラグを抜き、資格のあるサービス担当者に検査を依頼してください。
	楽器が破損する恐れがあるので、製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。
	楽器は、供給された、または既製品の推奨コンポーネントとのみ使用してください。サードパーティ製コンポーネントを使用する場合は、その製品に付随するすべての安全マークに従ってください。
	モジュールを開けないでください。内部にはユーザーが修理できる部品はありません。

## 重要な情報

### データ損失の防止

- モジュールに保存されているデータは、機器の故障や誤操作、その他の原因により失われる可能性があります。定期的にバックアップを作成すると、データの損失を防ぐことができます。
- Zildjian は、データの損失に関して一切の責任を負いません。

### 梱包材の廃棄

- 楽器が輸送された際の梱包材を廃棄する場合は、お住まいの地域の廃棄物処理規制に従う必要があります。

### USB フラッシュドライブの接続と使用

- USB ドライブをモジュールに挿入する前に、損傷を防ぐため、人体の静電気をすべて放電するようにしてください。
- 読み取りや書き込みの進行中に USB ドライブを抜かないでください。

### 知的財産権

- 本製品に含まれるコンテンツ（音声波形データ、スタイルデータ、伴奏パターン、フレーズデータ、オーディオループ、画像データ）の著作権は Zildjian が保有します。
- Zildjian が提供するオリジナルのコンテンツおよびそれに付随するサウンドは、購入者による個人使用やオリジナル作品の制作・配布に使用することを目的としています。他者の著作権を侵害する可能性のある方法で楽器を使用しないでください。Zildjian は、お客様による楽器の使用によって生じる第三者の著作権の侵害に関して、一切の責任を負いません。
- Zildjian が提供し製品に含まれるコンテンツおよびそれに付随するサウンドを抽出して、オリジナルや変更された形式で配布することはできません。

### 製造年月日

シリアルナンバーの5文字目と6文字目の位置のアルファベットは製造年を表し、7文字目の位置のアルファベットは月を表す。

年(下2桁): 5文字目／6文字目 A～I = 1～9 - 0 = J

月: 7文字目 A～L = 1～12まで

### この文書について

- Zildjian E-VAULT 電子ドラムモジュール クイックスタートガイド (ZAQSG):  
バージョン 1.8 (D)

## EU 加盟国および英国向け



Avedis Zildjian Co. は、無線機器 Zildjian ALCHEM-E (ZEV1、ZABEX、ZAG、ZAGEX) のタイプが指令 2014/53/EU (CE) および 2017 No.1206 (UKCA) に準拠していることをここに明記します。EU 適合宣言書の全文は以下から入手できます。 <https://zildjian.com/pages/compliance>



製品のこのマークは、使用済みの電気電子機器を一般家庭廃棄物と混合してはならないことを意味します。正しく廃棄することで、人の健康や環境に対する潜在的な悪影響を防ぐことができます。適切な処理、回収、リサイクルについては、お住まいの市区町村の役場、廃棄物処理業者、または製品を購入した販売店にご相談ください。

## 製品の認証IDの表示方法

この製品の認証 ID (FCC、IC ID、JP、KOR、NCC、SRRC) の表示方法

電源を入れた状態で下記の手順を踏んでください。

手順 1 : ○ボタンを 2 秒押してください。

手順 2 : [Settings] ボタンを押してください。

手順 3 : System Setting 画面で [Regulatory] タブを選択すると認証 ID が表示されます。

## ブルートゥース



Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。

Avedis Zildjian Co. は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。

その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

## 米国向け



警告：がんおよび生殖障害 - [www.P65Warnings.ca.gov](http://www.P65Warnings.ca.gov)

### FCC 情報

このデバイスは FCC 規則第 15 部に準拠しています。以下の 2 つの条件に従って動作します：(1) このデバイスが有害な電波干渉を発生させることはない、および (2) このデバイスは、誤動作を発生させる可能性のある電波干渉を含め、受信したあらゆる電波干渉を許容する必要がある。

注記：この装置は、テストの結果、クラス B デジタルデバイスの制限に適合し、FCC 規則第 15 部に準拠していることが認められました。これらの制限は、住宅への設置によって生じる有害な干渉からの適切な保護を目的として規定されています。

この装置は高周波エネルギーを発生、使用し、また放射することがあるため、指示に従って設置および使用しないと、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、干渉が生じないことが保証される特別な設置方法はありません。

この装置がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を現に引き起こしている場合（装置の電源をオン / オフすれば判別できます）、干渉を防止するため以下の 1 つまたは複数の対処方法を試してみることをお勧めします：

- 受信アンテナの方向または位置を調整する。
- 当該装置を受信装置から遠くに設置する。
- 当該装置を、受信装置を接続している回路とは別の回路のコンセントに接続する。
- 販売店または経験豊富な無線 / テレビ技術者に問い合わせる。

Avedis Zildjian Co. の許諾を得ることなく本製品に変更または改変を加えると、電磁両立性 (EMC) および無線に準拠しなくなり、製品を操作するための許諾が取り消されるおそれがあります。

本製品は、EMC 準拠の周辺機器およびシステムコンポーネント間にシールドケーブルが使用されている状況で、EMC への準拠が実証されています。ラジオ、テレビ、およびその他の電子機器への干渉が発生する可能性を低減するため、EMC 準拠の周辺機器およびシステムコンポーネント間にシールドケーブルを使用することが重要です。

責任当事者 (FCC に関する事項のみのお問い合わせ先) :

**Avedis Zildjian Company**

22 Longwater Drive, Norwell,

Massachusetts 02061, USA

Tel: 1-781-607-2424



## カナダ向け

### ISED カナダ法的尊種情報

本機はカナダ経産省許可免除 RSS に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に従います。

(1) 本機は有害な干渉を引き起こす可能性はありません。

(2) 本機は、予期せぬ動作を引き起こす可能性のある干渉を受けることがあります

放射線被曝に関する声明 :

本装置は、非管理環境における IC 放射線被曝限度に適合しています。本機器は、放熱器と身体との距離を 20cm 以上離して設置・操作してください。

**Avedis Zildjian Company**

22 Longwater Drive, Norwell,

Massachusetts 02061, USA

Tel: 1-781-607-2424

## オーストラリア



## 韓国向け



상호: Avedis Zildjian Co.

제품명: Electronic Drum Sound Module

모델: E-VAULT

제조자 및 제조국가:

Avedis Zildjian Co. / 일본

R-R-1AZ-EVAULT

## 日本向け



020-240154



E·VAULT

没入型の高度なエレクトロニクス体験



ZAQSG